

令和4年度第2回東京都 地域医療構想調整会議	参考資料1
---------------------------	-------

令和4年度第1回東京都 地域医療構想調整会議	資料1-1
---------------------------	-------

# 2025年に向けた対応方針に係る検討の進め方

～各医療機関の対応方針の策定・検証・見直し～

東京都福祉保健局医療政策部

① 調整会議での検討事項

② 検討を再開する背景

③ 方向性

④ 今後の予定

⑤ 確認・調査票

# ①調整会議での検討事項

①調整会議での検討事項
②検討を再開する背景
③方向性
④今後の予定
⑤確認・調査票

公立・公的・民間医療機関における「2025年に向けた対応方針」について  
意見交換を行い、各圏域における2025年に向けた対応方針に係る合意を目指す。

## 各医療機関の 2025年に向けた 対応方針とは

- ・ 2025年を見据えた構想区域で担うべき医療機関としての役割  
5 疾病 5 事業及び在宅療養等に係る各種指定・承認など
- ・ 2025年に持つべき医療機能ごとの病床数  
令和3年度病床機能報告での報告病床数など

## 検討事項

- ・ **公立・公的医療機関等**
  - ・ 東京都、区市町村、地方独立行政法人、地方公共団体の組合、日本赤十字社、（社福）恩賜財団済生会、国家公務員共済組合連合会、日本私立学校振興・共済事業団、国保組合、（独）地域医療機能推進機構、（独）国立病院機構、（独）労働者健康安全機構が設置する病院・診療所
  - ・ 特定機能病院及び地域医療支援病院
- 各医療機関の対応方針の検証・見直し
- ・ **公立・公的医療機関等以外の医療機関**  
公立・公的医療機関等の対応方針を踏まえた各医療機関の対応方針の確認

## 合意

- ・ **地域医療構想調整会議において、対応方針に係る協議が調うこと。**

## ②検討を再開する背景

①調整会議での検討事項
②検討を再開する背景
③方向性
④今後の予定
⑤確認・調査票

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、都では令和2年度から、2025年に向けた対応方針に係る検討を休止してきたが、

### 検討期限は令和5年度

#### 令和4年度・令和5年度で 検討するよう国が通知

- ・令和4年3月24日付厚生労働省医政局長通知
- ・第8次医療計画策定に向けた病床の機能分化・連携の議論等と併せて、対応方針の策定・検証・見直しを行うよう、都道府県に通知

### 2025年（令和7年）は目前

#### 現行の地域医療構想は、 2025年に向けた取組

- ・団塊世代（1947年～1949年生）全員が2025年には後期高齢者
- ・2025年まで3年を切り、これまでの自主的な病床の機能分化に係る取組について、いったん総括する時期

### 令和5年度は計画策定の年

#### 令和5年度は第8次 保健医療計画の策定に注力

- ・現行第7次計画の計画期間  
平成30年度～令和5年度
- ・次期計画は、記載事項に、「新興感染症等の感染拡大時における医療\*」を追加  
\* 5事業5事業 ⇒ 5疾病6事業

地域医療構想会議での検討を再開し、令和4年度中に、  
圏域における対応方針についての合意にメドをつけることが望ましい。

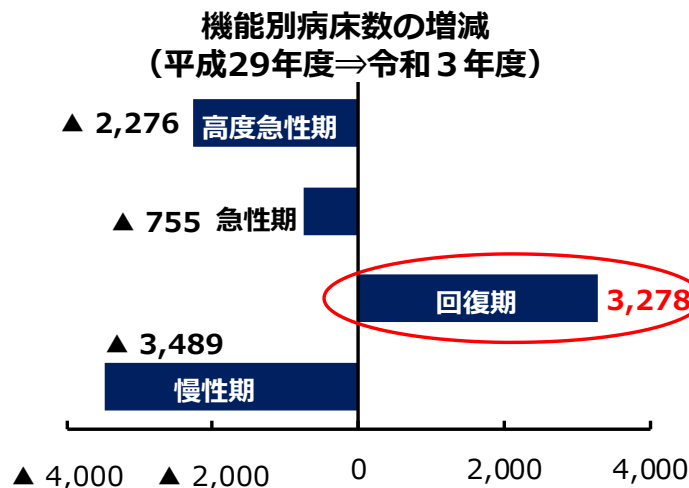
### ③方向性

①調整会議での検討事項
②検討を再開する背景
③方向性
④今後の予定
⑤確認・調査票

#### 病床の機能分化 進捗状況

##### 機能分化は目指す方向に進捗

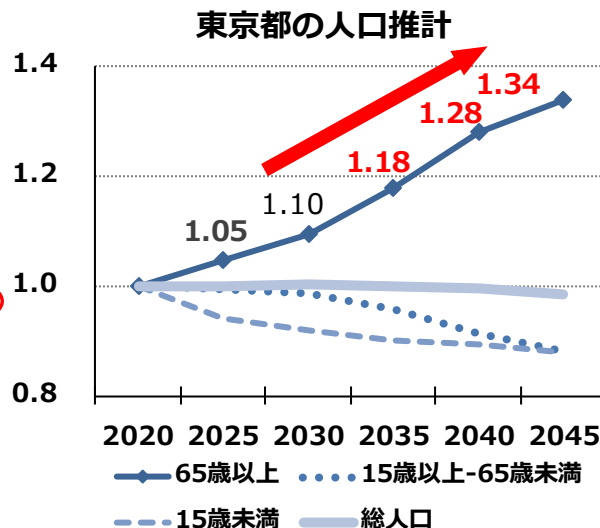
- 調整会議での取組を本格化した平成29年度以降、都内の回復期機能の病床は、着実に増加



#### 2025年以降の 都の人口構造の変化

##### 高齢人口の増加は、更に加速

- 2040年以降に向け、高齢人口の増加は加速し、医療需要は増大
- 2040年以降に向けた検討が重要



#### 新型コロナ感染症の 病床機能への影響

##### コロナ対応のための 病床運用変更は継続中

- コロナ運用の終期は不透明
- そのため、2025年に向けた大幅な機能変更は難しい状況

##### コロナ対応のための病床運用の状況

(令和3年7月1日時点)

病床数	
コロナ患者対応を行っている	5,083床
コロナ患者対応のため休棟・休床	2,738床

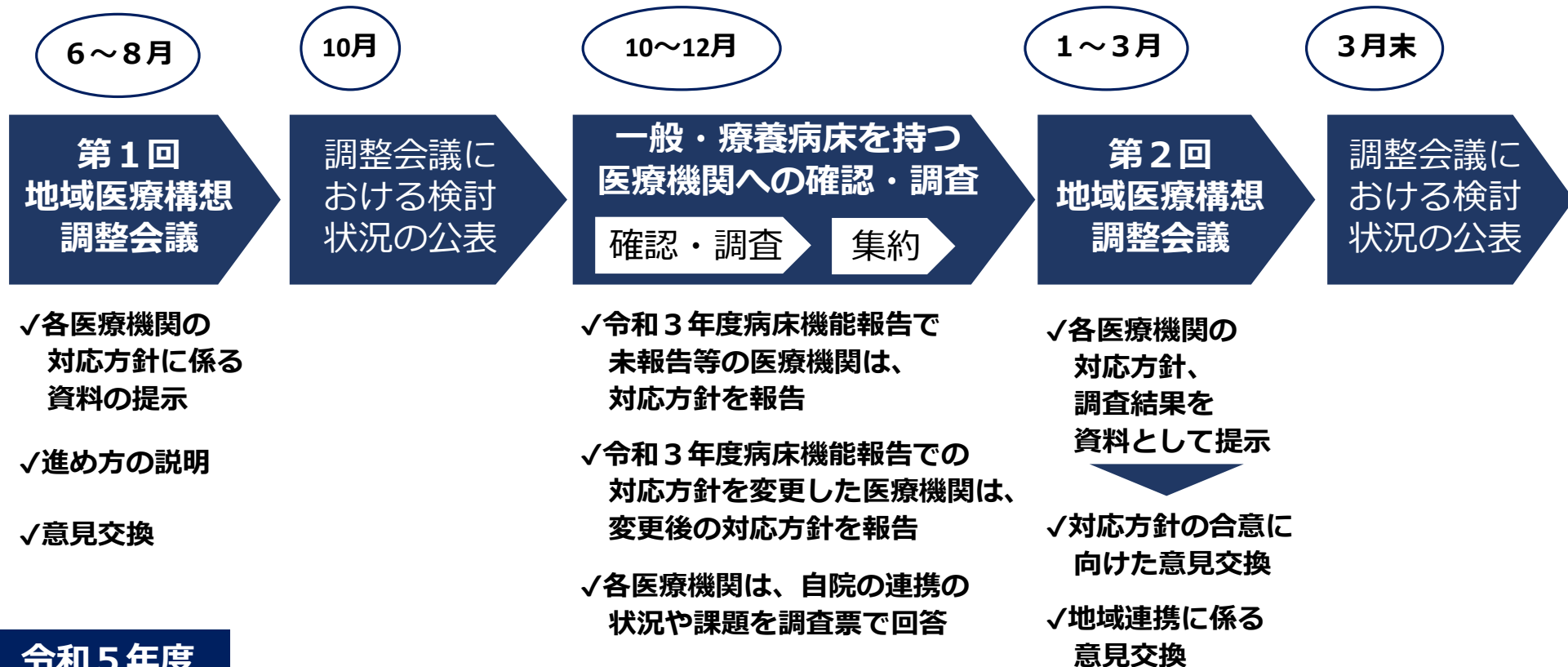
出所：令和3年度病床機能報告（速報値）より作成

2025年に向けては、各医療機関の対応方針を尊重し、圏域として合意する。  
質が高く効率的で持続可能な医療提供に向けた機能分化・連携の議論は継続する。

## ④ 今後の予定

①調整会議での検討事項
②検討を再開する背景
③方向性
④今後の予定
⑤確認・調査票

### 令和4年度



### 令和5年度

#### 地域医療構想調整会議

- ✓2025年に向けた対応方針に変更があった医療機関の変更内容を確認
- ✓変更内容が圏域における2025年の医療提供体制に大きな影響を与える場合 ▶ 合意に向けた意見交換を改めて実施

[illegible]

## ⑤確認・調査票

- ①調整会議での検討事項
- ②検討を再開する背景
- ③方向性
- ④今後の予定
- ⑤確認・調査票

### 「地域連携に係る調査票」への回答

- ・ 自院の強みや得意分野、さまざまな患者への対応の困難度等に係る設問に回答

#### 地域連携に係る調査票

##### 地域医療構想の達成に向けた地域連携に係る調査票

構想区域	
所在地	
医療機関名	
病床・外来管理番号	

地域連携の更なる推進のため、下記調査に御協力ください。

1. 入院患者に行われる医療のうち、貴院の強みや特色のある分野であり、かつ他の医療機関から貴院へ患者を紹介（転院・入院）してほしい傷病分類や傷病名・治療法及びそれらに関する医療機能等について、上位5つまで（順不同）お答えください。

	医療機能 (リストから選択)	傷病分類 (リストから選択)	傷病名・治療法	主な診療科名	備考
例	01 高度急性期	05 循環器系疾患	弁膜症 心臓カテーテル治療	循環器内科	TAVIやMitraClipなど
例	02 急性期/サブア キュート	04 呼吸器系疾患	肺炎の薬物療法	呼吸器内科	嚥下リハビリテーションも実施可能
例	03 回復期/ポストア キュート	01 神経系疾患	脳梗塞 脳血管疾患リハビリ テーション	リハビリテーション 科	急性期病床あるため発症早期から受入可
例	04 慢性期	10 内分泌・栄 養・代謝に関する疾 患	糖尿病性腎症 維持透析	透析内科	透析患者の入院可
1					
2					
3					
4					
5					

2. 地域外（他の医療圏）からの患者の転院も積極的に受けていますか。

3. 次のような状況に該当する患者（医療的には貴院で治療可能と想定、疾患は急性期、慢性期を問わない）が貴院に入院した場合、貴院の退院支援部門の対応力等を踏まえ、対応困難度を4段階（01 困難ではない/02 やや困難/03 困難/04 非常に困難）でお答え下さい。

また、「03 困難」「04 非常に困難」と回答した項目が1つでもある場合、対応が困難である理由について簡単にご記入ください。

##### 身体機能

	介護度が高い（寝たきりや摂食全介助）
	神経変性疾患や難病など、病態による特殊な身体機能の低下がある

##### 精神機能

	認知症（行動・心理症状を伴わない）がある。
	行動・心理症状を伴う認知症がある。
	精神科リエンゾンを要する精神障害（認知症を除く。）がある
	入院療養上のルールが守れない（例：喫煙、飲酒、無断外出等）

##### 社会機能

	医療費支払等の経済的な問題がある
	退院後の生活場所が定まっていない
	キーパーソンが不在、身寄りがない
	家族や介護者等による患者への虐待が疑われる
	患者、患者家族から疾病・病態に合わない要望が強い

「03 困難」「04 非常に困難」と回答した理由

4. 医療機関からの転院依頼（緊急受診依頼を除く）に関する窓口を御記入ください。

必要な診療内容により窓口が複数ある場合は、それぞれの窓口の連絡先を記入し、備考欄に対象とする診療内容等の条件を御記入ください。

	部署名	電話番号	FAX番号	メールアドレス	希望する連絡 方法	備考
例	入院支援室	xxx-xxx-xxxx	xxx-xxx-xxxx	xxx@xxxx.com	電話	受付時間 平日8:30~17:00 詳細は、http://www.xxxx
1						
2						
3						
4						